

際交流の場として広く機能している。また商談による滞在日数が国内見本市に比べ長く見込まれるため、高い経済波及効果を期待することができる。国際見本市のこうした性格を各国の都市は積極的に活用している。[小坂]

メッセ Messe (独) ドイツ語に由来する産業見本市のことである。ドイツ営業法では見本市 (Messe <独>) と展示会 (Ausstellung <独>) を区別しており、メッセとは定期的に繰り返し開かれることが明文化された商談の場で、来場者も専門業者に限定したものとされる。ハノーバーメッセやフランクフルトメッセなど、ドイツ国内には大規模な見本市会場がある。もとは教会のミサに由来する言葉で、ミサの後に開かれる市を意味するようになったものである。日本では、千葉市に幕張メッセが設置されている。[小坂]

オリンピック Olympics 1896年に第1回大会をアテネで開催し、4年おきに開催する最大の国際的スポーツ競技大会をさす。この近代オリンピックはフランスのピエール・ド・クーベルタン (Coubertin, P.) が中心となって始められた。一方、古代オリンピックは古代ギリシャのオリンピアで主神ゼウスに捧げる祭典として行われた。1924年から冬季大会も開催されるようになった。当初はアマチュア選手に限られていたが、現在は一部プロ選手の参加も可能である。[小坂]

ワールドカップ World Cup サッカー、ラグビー、バレーボール、マラソン、スキー、ゴルフなど、さまざまな分野で行われている世界大会である。このなかで最も古い歴史をもっているのが1930年にスタートしたサッカーで、それ以来4年に1度開催されている。ゴルフワールドカップは'53年から、ラグビーワールドカップは'87年から開催されている。[小坂]

アジア競技大会 Asion Games アジア・オリンピック評議会 (Olympic Council of Asia: OCA) がオリンピックの中間年に開催するアジアにおける競技大会で第1回は1951年ニューデリーで開催された。日本では'58 (昭和33) 年の東京大会と'94 (平成

6) 年の広島大会の2度開催されている。オリンピック同様に、アジア競技大会にも夏季大会と冬季大会があり、冬季大会の第一回は、'86 (昭和61) 年3月に札幌で開催された。[小坂]

コンベンション convention 相当数の人が参加する会議、シンポジウム、フォーラムなどを総称した用語である。これらの開催にあわせて観光や交流を目的とした旅行やレセプションなどの催しが実施されることから、裾野の広い経済波及効果が見込まれ、地域経済の活性化に寄与している。このため、各地で国際会議場の整備、コンベンション・ビューローによる積極的な誘致活動などが行われている。[佐藤(和)]

国際会議 international conference 海外から多数の参加者を得て開催される会議、学会、研究会などのことである。一定規模以上の国際会議は、通常会議と一体となったレセプション、視察旅行、ポストコンベンション・ツアー (国際会議後の観光旅行) といった観光・交流プログラムが予定されており、観光や地域経済の振興に繋がっている。このため、各地で国際会議場をはじめ誘致推進機関や受入れ体制の整備が進められている。[佐藤(和)]

国際コンベンション・シティ International Convention City 国際的なコンベンションの誘致、開催に関心をもち、受入れ条件の整った都市をさし、1994 (平成6) 年までは運輸省が34都市・地方を認定した。'94 (平成6) 年6月に成立した「国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律」(略称コンベンション法) に基づき運輸省が「国際会議観光都市」を認定した。これらはコンベンション・ビューローなどの国際コンベンション推進機関を有し、十分な受入れ施設とともに訪問客に訴える観光魅力をもつことが条件とされる。その数は'97 (平成9) 年現在45にのぼり、(特)国際観光振興会の国際コンベンション誘致センターの本部 (東京) と海外センター (ニューヨーク、ロンドン) の支援を

受けつつ国際会議などの誘致を図っている。

[佐藤(哲)]

厚生年金スポーツ・センター 厚生年金福祉施設のなかの一つである。施設の種類によって、会館、休暇センター、サンビヤ、保養施設とスポーツセンターと大きく五つのグループに分けられている。厚生年金の被保険者と年金受給者の福祉を向上させるための施設となっているが、一般の人でも支障をきたさない範囲において利用できる。

[吉川]

オートビレッジ auto-camp village

自動車旅行者用のキャンプ場で、オートキャンプ場ともいう。モータリゼーションの進行、交通体系の整備、家族旅行などの増加で急速に普及した。レクリエーション・キャンプの一形態で、生活用具を積んだ自動車に、自らが運転してキャンプ場へ行き、テントまたは車中に宿泊し、アウトドアライフを楽しむ。家族団楽や自然とのふれあいを求めるファミリー・キャンプが浸透しつつある [浦]

海の家 beach rest house 海水浴客を対象として更衣室や軽食などを提供する海辺の臨時の店舗のことである。渚において夏の期間だけ季節営業を行うケースが多い。また、民間企業や各種団体が従業員や職員などの保養・休養のために、海岸観光地に設けた寮・保養所などの福利厚生施設を海の家という。直営寮と貸寮があり、貸寮は企業などが民家を保養所として借り受けた施設である。

[浦]

海水浴場 sea bathing place 海水に浸かったり、海岸で日光浴をし、レクリエーションを楽しむ場所である。19世紀に入ったイギリスや江戸時代末期の日本では、潮湯治という海水を用いた療養法が行われていた。明治初期に知多半島の大野や湘南の大磯では、いち早く海水浴場が開かれたといい、海水浴を楽しむ場所へ変わった。今日、世界的には海水浴場は海岸リゾートへと発展しているが、わが国では夏のレクリエーション地域にとどまっている所が大半である。[山村]

園地 picnic area 自然公園法によ

ると、公園利用者の散策、水遊び、ピクニック、デイキャンプ、風景鑑賞、自然観察等自然との積極的なふれあいを図るために設けられる施設(園路、芝生地など)であって、一定の土地の広がりや有するものをいう。公園利用者が野外で水泳・潜水利用を行うために設けられる水泳場が、他の季節にピクニック休憩、散策などに利用されている場合には園地としてさしつかえない。 [石原]

盛り場 amusement quarter 都市の中心部で、多数の人々が寄り集まって賑やかな場所をいう。繁華街ともいう。一般的には、市街地のほぼ中央部、交通便利なところに立地する。買物、料飲、娯楽、社交、文化などの機能をもった施設が集積する。ひとことでは、盛り場は遊ぶところで、東京では新宿歌舞伎町が代表格である。狭義の意味で捉えると、銀座などの商店街は買物をするところ、原宿などのファッション・タウンはファッションを楽しむところとなる。 [浦]

カジノ casino 賭博場、賭博設備があり、娯楽、ダンス、ショーなどにも利用する建物または大部屋のことをいう。もとはルネッサンス時代のイタリアの貴族の別荘を意味するイタリア語で、これらの別荘で舞踏会、ゲームなどの社交が催され、後には都会や海辺その他での社交施設を総称するようになった。現在ではギャンブルの場として有名で、モナコ、ラスベガス、マカオ、バーデン・バーデン、ニースなどはその例である。経営形態は国营、公営が多い。 [吉川]

免税店 duty-free shop 免税とは租税の納入を免除することである。免税店とは外貨獲得や外国人旅行者の購入の便宜を図るために、商品への課税が免除(非課税)されている店舗をいう。国際空港や国際港湾の待合室にあるが、友誼館あるいは外国人専用店として大都市の市中にも用意されている場合も多い。 [大矢野]

インフラストラクチャー(観光インフラ) infrastructure 一般に都市の基盤となる港湾施設、鉄道、自動車道、空港、電力、上下水道などの施設や制度をさし、社